

交差する彫刻と絵画

18日まで憩ひ 宮原萌さん初個展



地元佐賀で初個展を開いている宮原萌さん。
手前は彫刻作品「トリのクルマ」(FRP)

鳥の自然な姿やしぐさを中心に、彫刻と絵画で表現する宮原萌さん(25)＝鳥栖市＝が、地元佐賀で初個展を開いている。テーマは「アスレチック」。鳥から連想するものを盛り込んだユニークな造形には遊び心が感じられ、みずみずしい展観となっている。

宮原さんは、2011年に佐賀北高校芸術コースを卒業、2017年に崇城大学大学院修了。大学在学時の2013年、日展彫刻部門で初入選した。個展には、しぐさやポーズに愛着を感じるという鳥をモチーフにした作品が多く並ぶ。

彫刻「トリのクルマ」は、自在に水面を進む鳥を見て車を思い浮かべたことから、足の部分をタイヤ

に見立てた。樹脂などを用いて石のような質感を出しながら、軽量化することで浮遊する鳥に近づけた。顔を前後に配置した不思議なシルエットは、遊具のような雰囲気漂う。くちばしを背中の中に入れてうずめた鳥の姿を巧みに捉えた作品「在るかたち」も目を引く。

彫刻の設計図に、さらにアイデアを盛り込んだ絵画も重厚さがある。秋をイメージした作品「水と舟」は、赤土や銀箔を用いてミクストメディア(混合技法)で表現。舟のようにたたずむ水鳥の足の動き

にあわせた、ピアノの音色が聞こえてきそうな画面が味わい深い。

宮原さんは「彫刻と絵画を交差しながらの表現には、いろんな気づきや面白さがある。作品からそれらを感じてもらえたら」と語る。

(南和典)

▶佐賀市天神の画廊憩ひ＝電話0952(23)2353＝で18日まで(月曜休廊)。

電子新聞に 複数写真



「水と舟」(P120)

2018年2月9日 佐賀新聞 文化2面